

平成18年 9月22日

各 位

東京都文京区本郷二丁目 38 番 18 号
 株式会社 カイノス
 代表取締役社長 中村 利通
 (J A S D A Q ・ コード : 4 5 5 6)
 問い合わせ先
 責任役職者 専務取締役管理本部長
 氏 名 徳永 孔志
 T E L (0 3) 3 8 1 6 - 4 1 2 3

中間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年7月21日付け当社「平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)」で発表いたしました、平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の中間及び通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期中間業績予想の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,091	48	23
今回修正予想 (B)	2,080	58	5
増減額 (B) - (A)	11	10	18
増減率 (%)	0.5 %	20.8 %	78.3 %
(ご参考) 前期実績(平成17年9月中間)	2,390	73	251

2. 平成19年3月期通期業績予想の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,575	137	63
今回修正予想 (B)	4,380	111	30
増減額 (B) - (A)	195	26	33
増減率 (%)	4.3 %	19.0 %	52.4 %
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	4,589	142	230

3. 修正の理由

当社では、前事業年度におきましてインフルエンザ試薬の生産を増強し、積極的な試薬供給に努め、当事業年度の初期対応として、自社・市場在庫の備蓄をいたしてまいりました。

一方、前事業年度から推進してまいりましたインフルエンザ試薬の改良に成功し、当事業年度は自社・市場在庫を改良品に置き換え、改良品での市場拡大を目指すことにいたしました。

市場において改良品を置き換えることとした結果、当中間期の売上高につきましては前回予想20億9千1百万円に対して微減の20億8千万円、経常利益につきましては前回予想4千8百万円に対して5千8百万円、中間純利益では前回予想2千3百万円に対し5百万円と予想を大きく下回る見込みとなっております。

また、通期予想では、売上高につきましては新製品の市場投入の遅れおよび保険点数の改定などの、政府の医療費抑制を目的とした医療制度改革の影響により、前回予想45億5千7百万円に対して43億8千万円、経常利益につきましては前回予想1億3千7百万円に対して1億1千1百万円、当期純利益におきましては前回予想6千3百万円に対し3千万円となる見通しであります。

今後につきましては、当期の計画達成を目指し、生化学・免疫・POCT分野および遺伝子分野への積極的な営業活動と研究開発を推進してまいります。

また、設備投資面では笠間事業所において製造・研究開発エリアの増改築および配送センターの移設を完了し、当中間期より通常稼働を開始しております。

以 上